

trixboxPro V2.0

セットアップガイド日本語版

Communication Business Avenue, Inc. All rights reserved.

目次

ステップ 1 :: ISO イメージをダウンロードし、インストール CD を作成	3
ステップ 1 :: ISO イメージをダウンロードし、インストール CD を作成	3
ステップ 2 :: trixboxPro のインストール	3
ステップ 3 :: ウェブブラウザに Japanize アドオンをインストール	8
ステップ 4 :: trixboxPro ウェブ管理画面からの設定	8
ステップ 4-1 :: 外線接続の設定	10
ステップ 4-2 :: ダイヤルプランの設定	11
ステップ 4-3 :: 電話機の登録	13
ステップ 5 :: ソフトフォンのインストール	17
ステップ 6 :: HUD のインストール	20
オプション設定	26
trixboxPro サーバを DHCP サーバに設定する。	26
WinSCP でサーバにアクセスする。	26

dhcpd.conf ファイルを書き換える。	26
ifcfg-eth1 ファイルを作成する	28
Dhcp ファイルを編集する	29
他のデバイスドライバをインストール必要がある場合の対処法	29

ステップ 1 :: ISO イメージをダウンロードし、インストール CD を作成

以下の URL から trixboxPro ソフトウェアの ISO イメージファイルをダウンロードしてください。

<http://www.trixbox.com/pro-iso>

このファイルからインストール CD を作成してください。

ステップ 2 :: trixboxPro のインストール

trixboxPro をインストールするコンピュータが、trixboxPro の動作検証済みのものであるかどうかを御確認ください。2008 年 5 月末現在 Fonality 社が動作を保証しサポートしているハードウェアは以下の通りです。このリストは随時更新されます。

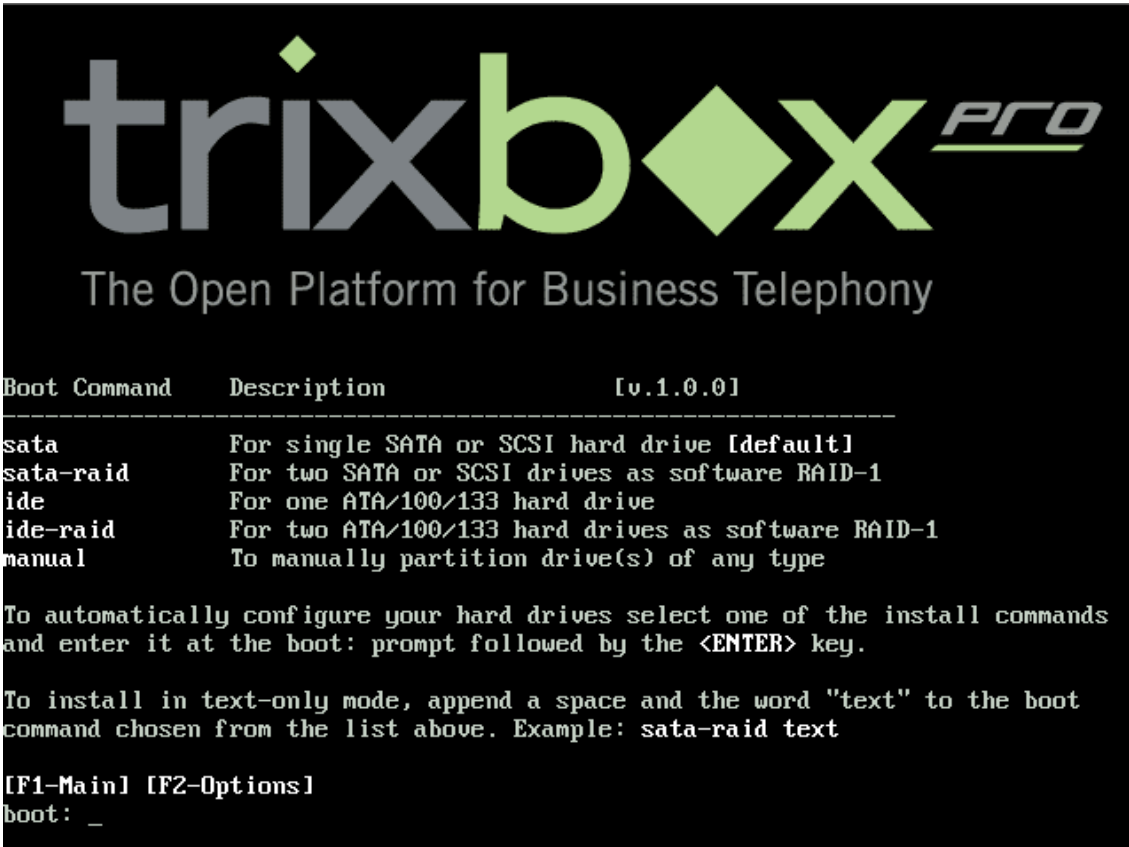
- Dell PowerEdge 1950 Series III(*PERC 6/i*)
- Dell PowerEdge 1950(*PERC 5/i*)
- Dell PowerEdge 860
- Dell PowerEdge SC440
- Dell Optiplex 330
- HP Compaq DX2200
- HP Compaq DX2300
- HP ProLiant DL360 G4P
- HP ProLiant DL360 G5

この他に、サポートされないものの、動作が確認されているハードウェアのリストは以下のサイトを
覧下さい。(英語)

<http://trixbox.org/wiki/hardware-support>

ではインストール作業を始めましょう。

まずインストール CD をサーバにセットし、CD から起動させます。以下の画面が表示されます。



```
trixboxPRO
The Open Platform for Business Telephony

Boot Command      Description      [v.1.0.0]
-----
sata               For single SATA or SCSI hard drive [default]
sata-raid         For two SATA or SCSI drives as software RAID-1
ide               For one ATA/100/133 hard drive
ide-raid          For two ATA/100/133 hard drives as software RAID-1
manual            To manually partition drive(s) of any type

To automatically configure your hard drives select one of the install commands
and enter it at the boot: prompt followed by the <ENTER> key.

To install in text-only mode, append a space and the word "text" to the boot
command chosen from the list above. Example: sata-raid text

[F1-Main] [F2-Options]
boot: _
```

trixboxPro は以下の4つのハードウェア構成に対応しています。

- 1 : **sata** SATA あるいは SCSI ハードドライブ 1 台のみ (デフォルト)
- 2 : **sata-raid** SATA あるいは SCSI ハードドライブ RAID-1
- 3 : **ide** ATA-100/133 ハードドライブ 1 台のみ
- 4 : **ide-raid** ATA-100/133 ハードドライブ RAID-1

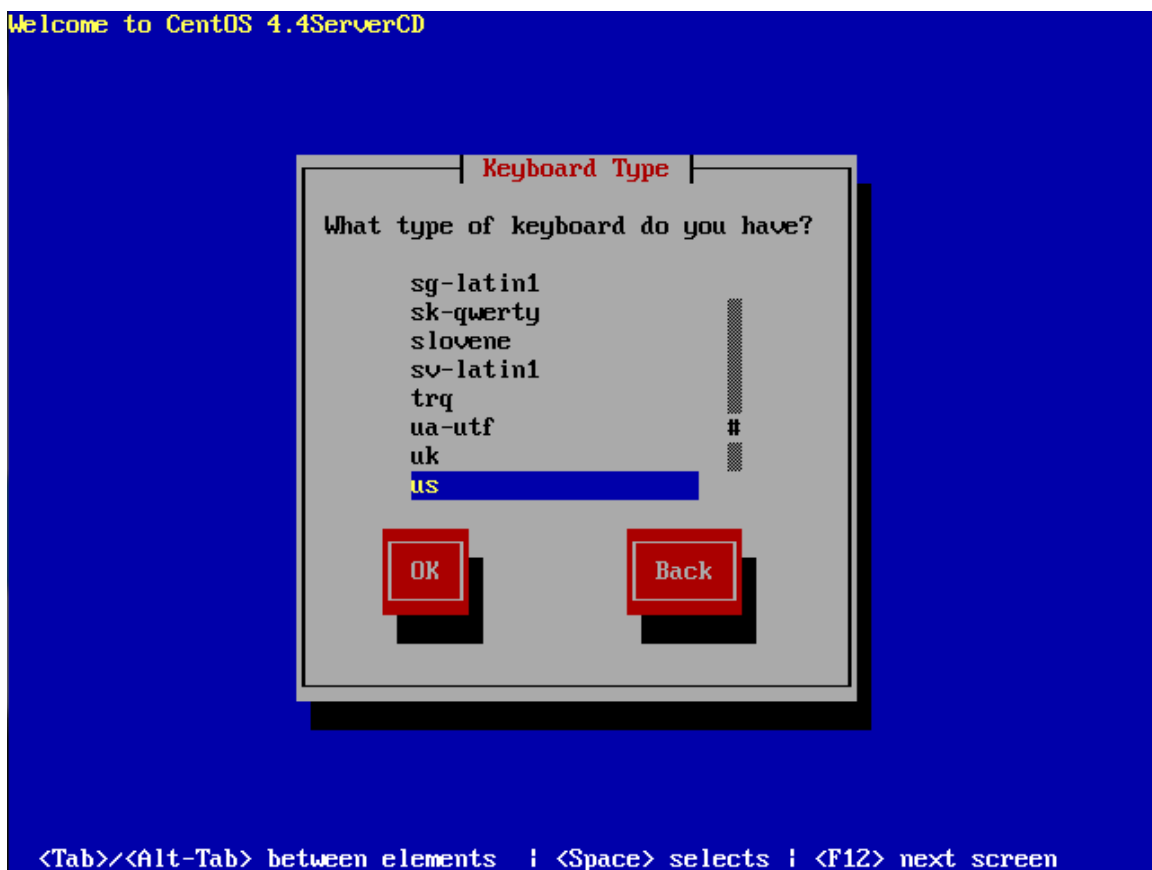
画面下の「boot:」プロンプトで、お手元の環境に合わせて、「sata」、「sata-raid」、「ide」、「ide-raid」のいずれかを入力し、Enter キーを押します。これでインストールが開始されます。

重要：trixbox をインストールするとハードディスク上のすべてのデータが消去されます！重要なデータが無いかどうか御確認ください。あらかじめバックアップしておかれるようにお勧めします。

trixboxPro の提供する RAID はソフトウェア RAID です。ハードウェア RAID が実装されている環境では、「1」か「3」のシングルドライブ構成をお選びください。ハードウェア RAID の方が一般的に高性能で安定しています。

重要 : trixboxPro をインストールするコンピュータの記憶装置が IDE か SATA かどうか御確認ください。選択を誤るとインストールに失敗します！

インストールの途中でキーボードの種類を設定しますが、日本語キーボードをご利用の場合は、日本語「jp」をお選びください。



この後は画面の指示に従ってインストールを続けます。約 15 分ほどで完了します。インストールが完了すると、CD がイジェクトされ、コンピュータが再起動されます。CD を取り出して再起動してください。

```
You may press 'r' at any time to restart activation

>>> Checking for Internet connection (may take several minutes)...[ OK ]

Your current IP configuration is:

                IP address      : 192.168.5.186
                Subnet mask     : 255.255.255.0
                Default gateway  : 192.168.5.1
                DNS server       : 192.168.5.1
                Mode              : dhcp

Select your desired IP configuration below:

1. DHCP
2. Static IP
3. Keep my current configuration
r. Restart activation

Select option [1,2,3,r]: 3

If you do not have a trixbox Pro username and password, please
visit http://www.trixbox.com to obtain an account for FREE!

Enter your trixbox Pro username: _
```

サーバが再起動されると、次にサーバのネットワーク環境設定に入ります。画面には以下が選択できるようになっています。

- DHCP
- Static IP (固定 IP)
- Keep my current configuration (現在の設定を保存する)
- Restart Activation (アクティベーションをやり直す)

お手元の LAN 環境で DHCP サーバか DHCP サーバ機能を持ったルータがある場合は、trixboxPro サーバは IP アドレスを自動で取得できます。しかし、予期しない IP アドレスの変更による電話の不通などのトラブルを避けるために、固定 IP で運用されるように強くお勧めいたします。

trixboxPro はデフォルトで DHCP モードで起動いたします。上記画面の通りで問題が無ければ、「3」を押して、ユーザ認証手続きに進みます。固定 IP モードにしたい場合は、「2」を押して、設定します。

次にシステムのユーザー認証手続きに入ります。「**activate**」と入力します。

「Enter your trixboxPro username:」 (trixboxPro のユーザー名を入力してください)

「Enter your trixboxPro password:」 (trixboxPro のパスワードを入力してください)

と聞きますので、当社より送付いたしました trixboxPro アクティベーション E-Mail に記載されているユーザー名とパスワードを入力してください。

アクティベーションが完了すると、システムは追加のコンポーネントをインストールします。

もしシステムにセカンダリ LAN インターフェースが検出された場合は、

「A second ethernet interface was found. Would you like to activate DHCP service on it for automatic IP phone configuration? This will allow you to automatically have the phones get their information from the DHCP server on the Fonality server for the purposes of configuration. This option is not required, although it can help speed up the provisioning on many phones. Activate DHCP services? [y,n]」

「2 つ目のイーサネットインターフェースが検出されました。自動 IP 電話設定機能のために、DHCP をアクティベートしますか? これにより、各電話機が Fonality サーバの DHCP サーバから情報を自動的に取得できるようになります。このオプションは必須ではありませんが、多数の電話機を設定する場合に、作業を効率化します。DHCP サービスを有効にしますか? [y,n]」

続いて以下のメッセージが表示されます。

「Will this second ethernet interface be the primary interface that your IP phones will be connected to for normal operation? Is second ethernet the primary IP phone interface? [y,n]」

「このセカンダリ LAN インターフェースは、IP 電話機が接続されるプライマリインターフェースですか? セカンダリ LAN はプライマリ IP 電話インターフェースですか? [y,n]」

これは、ネットワークを電話とデータネットワークに独立して設定するためのものです。2 系統の独立した VLAN や、物理ネットワークを構成するときに選択します。

続いて以下のメッセージが表示されます。

「Updated DNS service to reflect private IP address.」

「プライベート IP アドレスを反映させるために DNS サービスを更新しています」

TrixboxPro サーバは自身を Fonality マスターDNS サーバに登録します。これに続いて次のプロンプトが表示されます:

「Installing HUD (may take several minutes):」

「HUD をインストールしています。数分かかります」

続いて、trixboxPro サーバは各種の電話機のファームウェアをダウンロードします。これにより、これら電話機の自動設定機能が導入されます。ファームウェアをダウンロードしなければ、trixboxPro システムは電話機の自動設定機能をサポートしません。それで、Polycom や Aastra 製の電話機用ファームウェアをダウンロードされることをお勧めします。これらの電話機は、trixboxPro システムで最も一般的に使用されるものです。ダウンロードには数分かかります。

ダウンロードが完了し、アクティベーションが完了します。

ステップ 3 :: ウェブブラウザに Japanize アドオンをインストール

これは Web 上の外国語表記を日本語に翻訳するアドオンソフトウェアです。

このソフトウェアはサイボウズ社に帰属します。Internet Explorer や Firefox また Opera といったウェブブラウザで動作しますが、Internet Explorer では実装されていない機能があるため翻訳が完全に行われません。Firefox をお使いになるように強くお勧めします。

Firefox 用アドオンは以下の URL からインストールできます。

<http://japanize.31tools.com/>

本アドオンが正常にインストールされると、Firefox の画面右下に日の丸のアイコンが表示されます。



注意: ウェブ管理画面での設定でいくつかの項目は Japanize を使用すると設定が反映しないトラブルがあることが報告されています。それで、画面上で設定したにもかかわらず動作しない場合は、Japanize をオフにしてもう一度お試しください。

ステップ 4 :: trixboxPro ウェブ管理画面からの設定

Web ブラウザから、次の URL に移動します。

<http://cp.trixboxPro.com>

以下のログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力します。



初期画面が表示されます。Japanize を使用し、Web インターフェースの翻訳を行う場合は、暗号化（鍵のアイコン）のチェックボックスを解除しておいてください。暗号化されると翻訳ができません。表示されているページが暗号化されているかは、ウェブブラウザのアドレスバーに「https」で始まるアドレスが表示されている場合は暗号化されています。「http」の場合は暗号化されていません。



ステップ 4-1 :: 外線接続の設定

まず、PSTN や VoIP プロバイダに接続するための外線接続設定を行います。通常のアナログ回線や、ISDN ターミナルアダプタ (TA) および VoIP アダプタ (IP 電話端末や光電話端末など) の端末のアナログ出力端子と、音声カードを接続します。ケーブルを接続するだけでアナログ回線からの発着信が可能になります。VoIP サービスプロバイダの Proxy サーバに直接接続するタイプの回線 (アジルフオン、G-LEX など) の場合は、下の画面の通り、Voip タブから設定を行います。プロバイダが提供している設定情報を入力してください。設定が完了し、プロバイダに正常に接続されると、「レジスト済み」と表示されます。これで設定完了です。



ステップ 4-2 :: ダイアルプランの設定

次に、ダイヤルプランを設定します。ダイヤルプランのタブをクリックします。以下の画面が表示されます。



ダイヤルプランは、外線に発信する際のルールを記述するためのものです。ある特定の電話番号に発信できないように設定したり、国際通話には、料金の安い回線を選んで発信するように設定できます。どの電話番号（市内通話、国際通話、携帯電話など）に発信しても同じ回線を使うのであれば、「ダイヤル文字列」の欄に「.（ドット）」と入力して、経路を指定するだけです。この「.（ドット）」は任意の長さの数字を表しています。「n」は一桁の数値（1と0を除く）を表します。「x」は一桁の数値（1と0を含む）を表します。

ダイヤルプランを追加

Prefix [?] + ダイヤル文字列 [?]	詳細 [?]	種類 [?]	経路 [?]	無視する桁 [?]	後付する桁 [?]
9 +		無料通話	第1 VoIP; test	1 (デフォルト)	
<small>参照 "n" は一桁の数値 (1と0を除く) を表します "x" は一桁の数値 (1と0を含む) を表します は「0ゼロ」か任意の桁の数値を表します</small>					
			第2 無し(オプション)	1 (デフォルト)	
			第3 無し(オプション)	1 (デフォルト)	

Add Dial Plan

ステップ 4-3 :: 電話機の登録

続いて、IP 電話機またはソフトフォンの登録を行います。このドキュメントでは CounterPath 社の X-Lite を例に説明しています。下図の通り、「電話機の追加」の項目で、ベンダーはリスト中の CounterPath を選びます。

アナログあるいはSIP電話機を接続する場合は、このページから電話機を登録してください。

注意：もし使用する電話機が、trixboxProが正式サポートしていないものであるときは、「Proxyサーバ」、「レジストラサーバ」、「ドメイン」のアドレスを「s104484.trixbox.fonality.com」に設定してください。もし電話機がローカルネットワークの外に位置する場合は、「s104484x.trixbox.fonality.com」をプロキシホスト名としてください。それぞれの電話機のSIPユーザー名とパスワードは以下の通りです。

電話機の追加

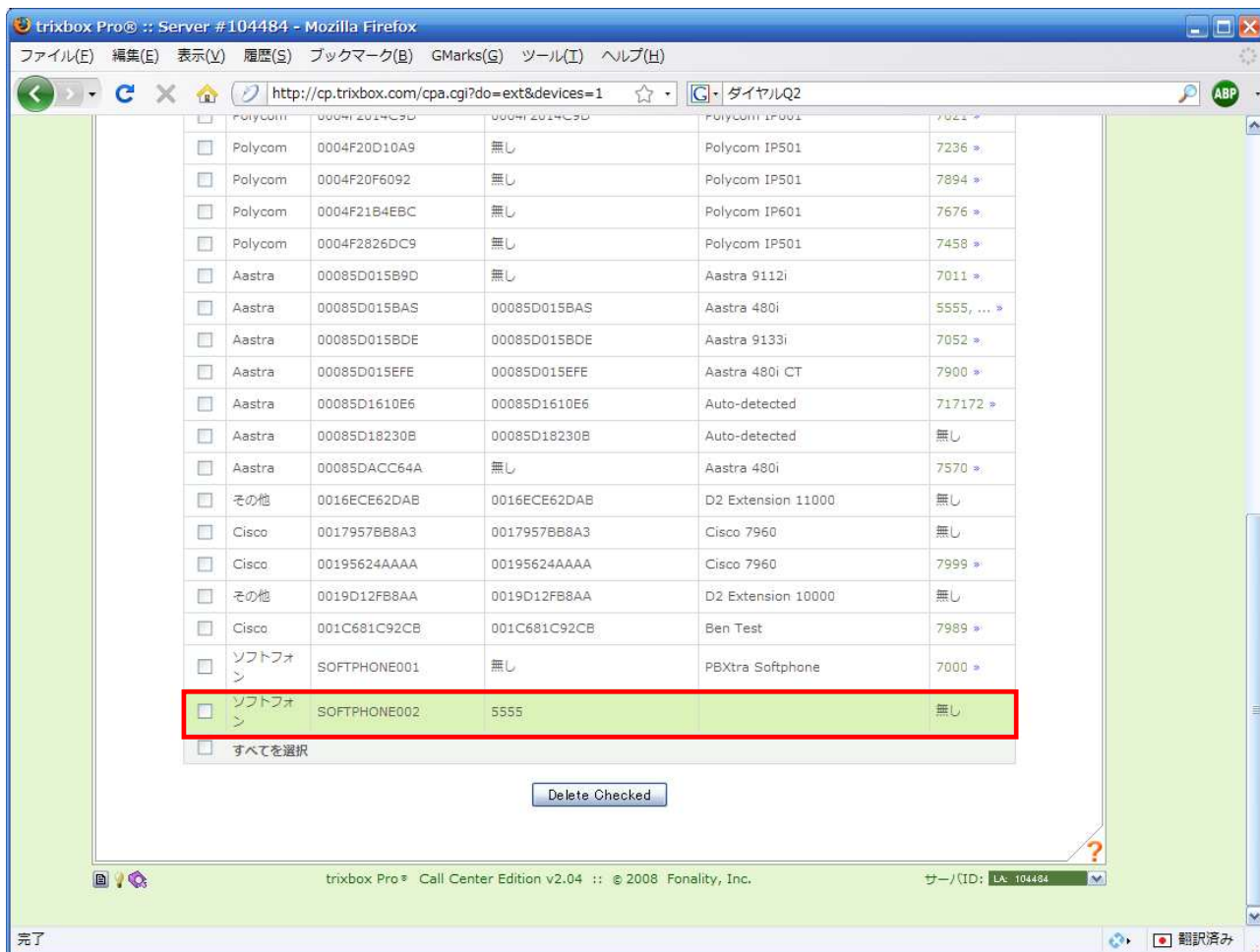
MAC[?] ベンダー[?] 詳細[?]

27個のデバイスを表示しています

削除	ベンダー	SIPユーザー名	SIPバ	詳細	内線
<input type="checkbox"/>	その他	000000012000	00000	D2 Extension 12000	無し
<input type="checkbox"/>	その他	000000012001	00000	D2 Extension 12001	無し
<input type="checkbox"/>	その他	000000012002	00000	D2 Extension 12002	無し
<input type="checkbox"/>	その他	000000012003	000000012003	D2 Extension 12003	無し
<input type="checkbox"/>	Polycom	0004F2014B7A	0004F2014B7A	test	無し
<input type="checkbox"/>	Linksys	0004F2014B7B	0004F2014B7B	Test	無し
<input type="checkbox"/>	Polycom	0004F2014B7D	0004F2014B7D	Polycom IP 4000	7005
<input type="checkbox"/>	Polycom	0004F2014C7E	0004F2014C7E	Polycom IP501	7388
<input type="checkbox"/>	Polycom	0004F2014C9D	0004F2014C9D	Polycom IP601	7021
<input type="checkbox"/>	Polycom	0004F20D10A9	無し	Polycom IP501	7236

追加すると以下ようになります。（緑色のハイライト部分）この電話に関連付けられた内線番号

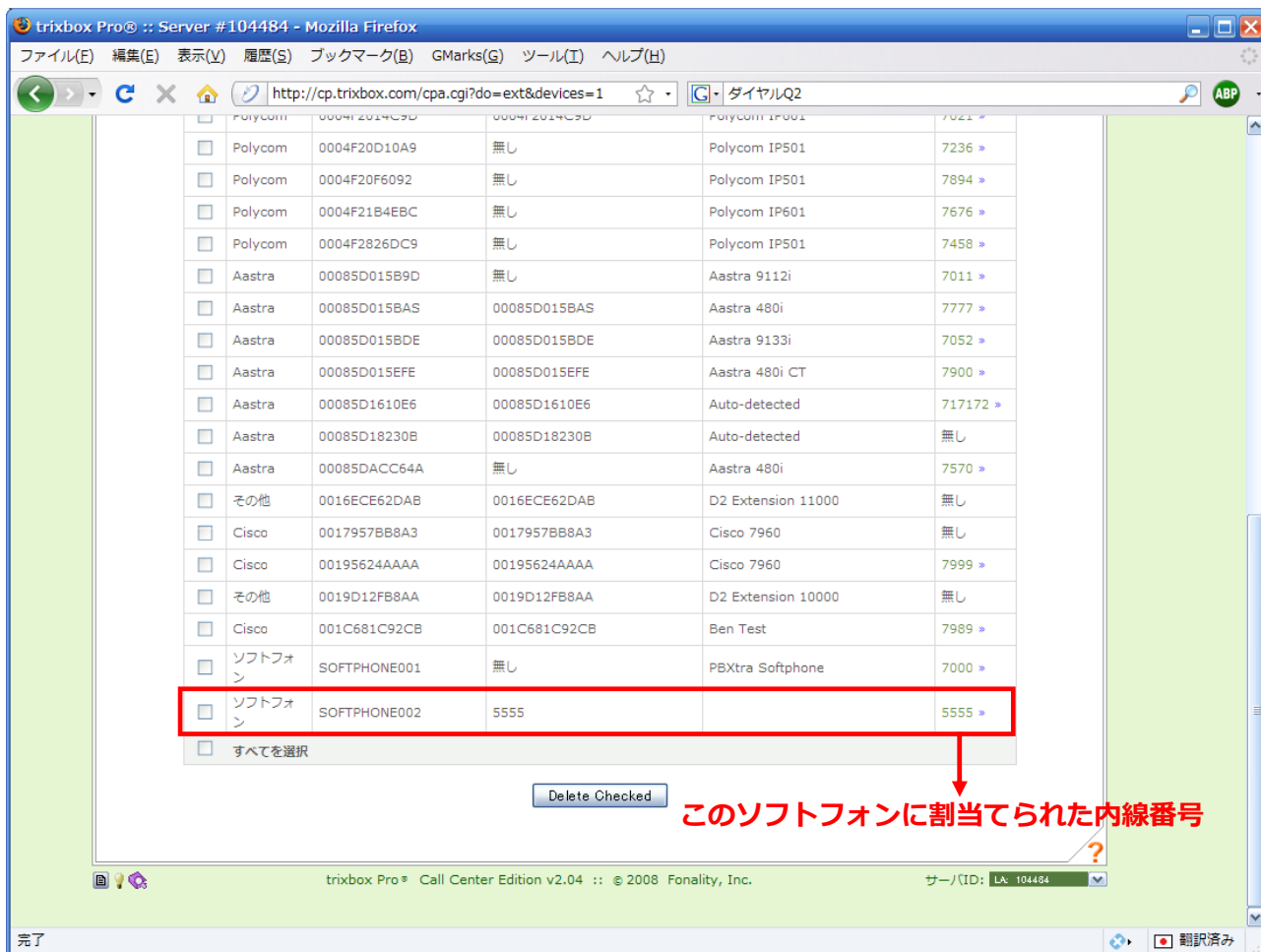
がない状態です。



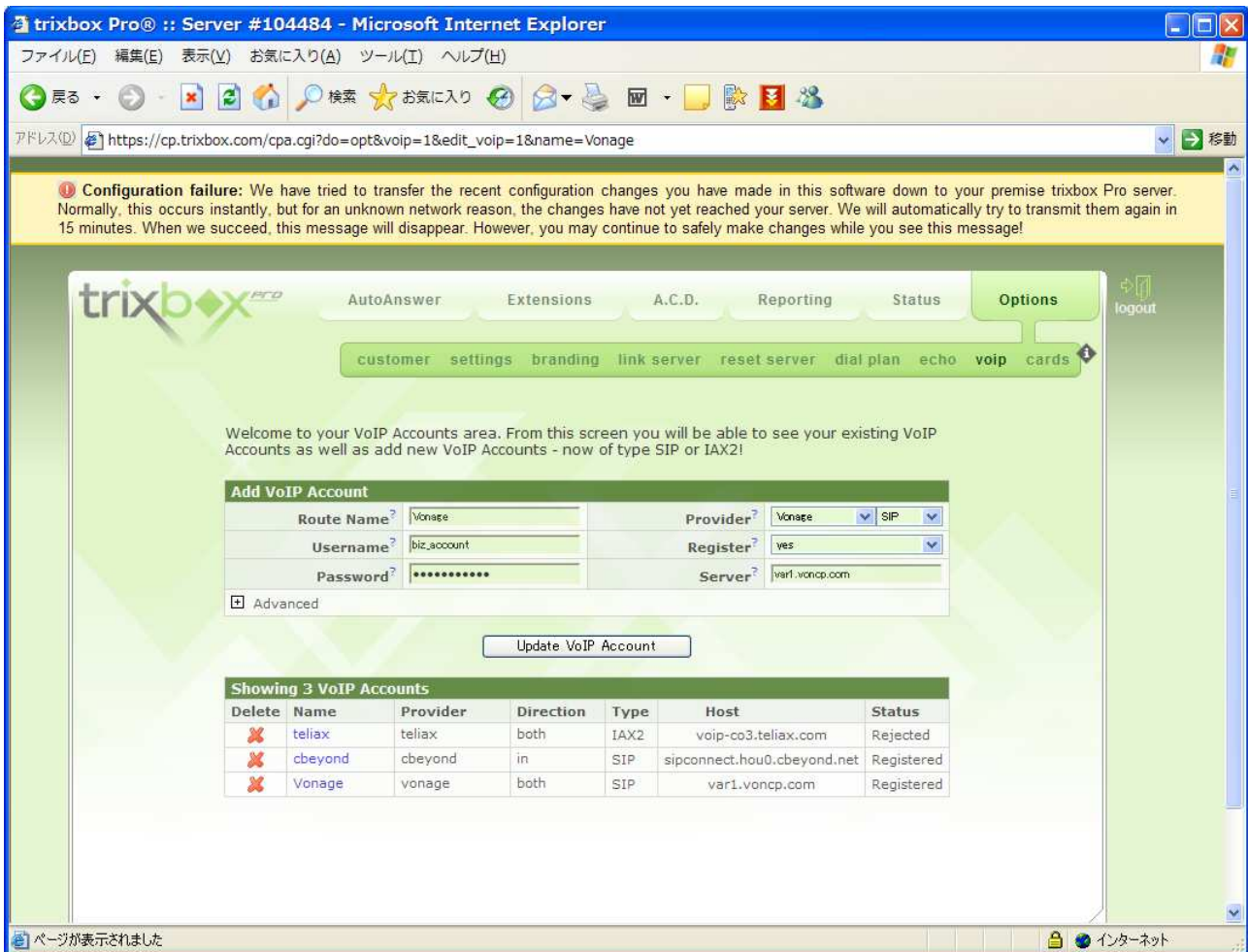
続けて、内線 (Extension) を登録します。下図の通り、内線登録情報の中で、電話機/デバイスの項目がありますので、ここで先ほど登録した電話機・ソフトフォンを選びます。



下図の通り、登録されています。



設定作業中に、下図の通り、ConfigurationError が表示されることがありますが、心配には及びません。設定情報は、Fonality のサーバからお手元の trixboxPro サーバに転送されます。



trixboxPro 側の作業は以上です。続いてソフトフォン側の設定を行います。

ステップ 5 :: ソフトフォンのインストール

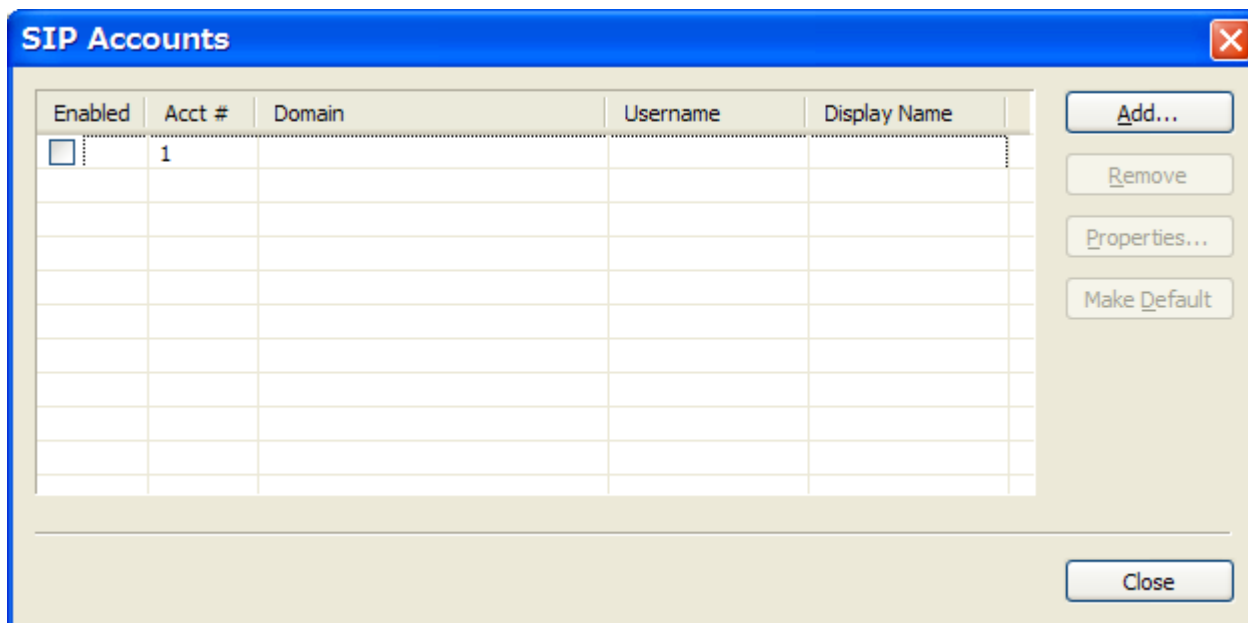
CounterPath 社から X-Lite (無料) をダウンロードし、インストールします。

<http://www.counterpath.com/x-lite-downloadsurvey.html>

ソフトウェアを起動し、ディスプレイ部の上でマウスの右ボタンを押します。



「SIP Account Settings…」を選びます。



ダイアログの右上にある「Add…」を選びます。

Properties of Account1

Account Voicemail Topology Presence Advanced

User Details

Display Name: CBA-Japan

User name: SOFTPHONE002

Password: ****

Authorization user name: SOFTPHONE002

Domain: s104484x.trixbox.fonality.com

Domain Proxy

Register with domain and receive incoming calls

Send outbound via:

domain

proxy Address: s113311x.trixbox.fonality.com

target domain

Dialing plan: #1#a#a.T;match=1;prestrip=2;

OK キャンセル 適用(A)

ここで、以下の情報を入力してください。

- **DisplayName** : これは任意です。
- **UserName** : 電話機登録画面で設定したソフトフォンの名前を入力します。ここでは「SOFTPHONE002」になっています。名前はすべて大文字にしなければなりません。
- **Password** : 内線番号を入力してください。ここでは「5 5 5 5」が入力されています。
- **Authorization User Name** : これは UserName と同じにします。
- **Domain** : IP 電話・ソフトフォンを利用する PC が構内にある場合は sNNNNNN.trixboxPro.fonality.com、ソフトフォンが外部のリモート環境にある場合は sNNNNNNx.trixboxPro.fonality.com と入力してください。NNNNNN は、お客様に送付されたメールに記載されている 6 桁のユーザー番号です。

補足：ルーター設定について。

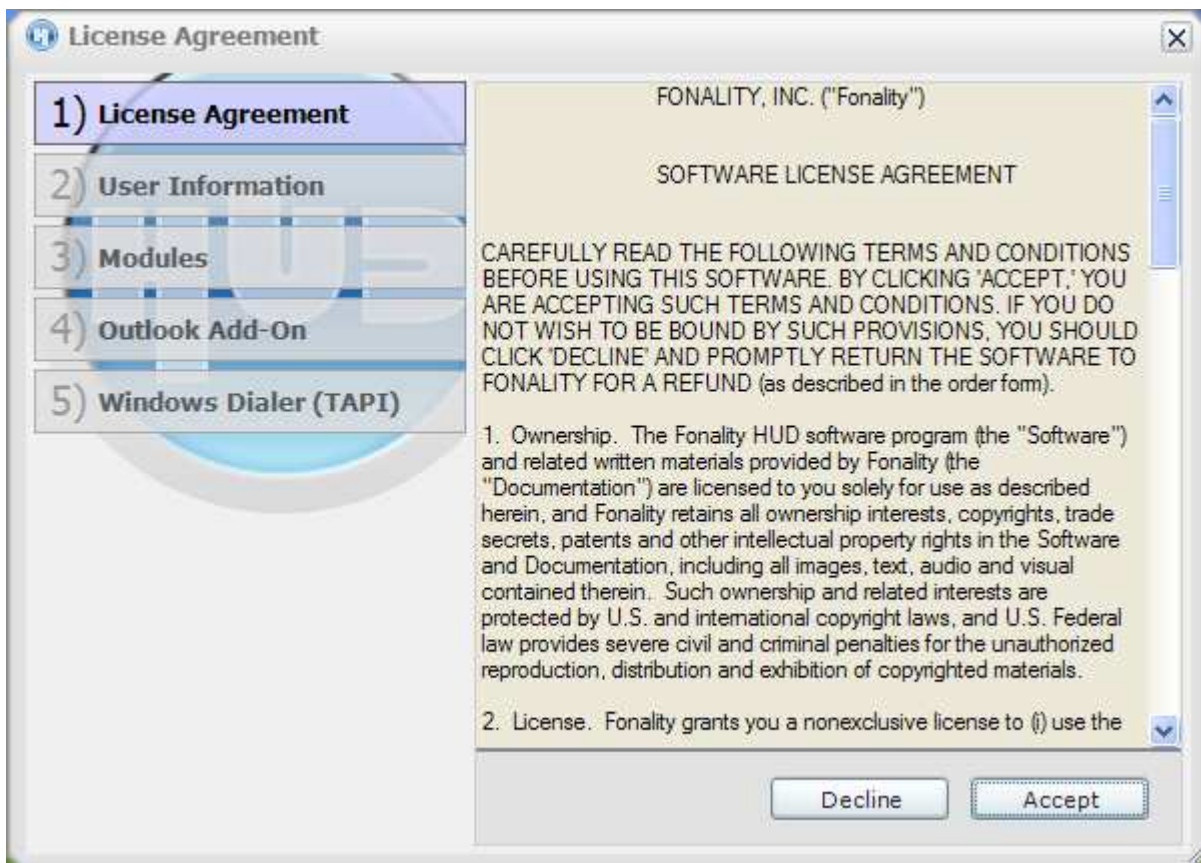
TrixboxPro サーバはインターネットにより Fonality サーバに常時接続しています。ルーターによっては接続がうまくいかない場合もあります。最も簡単で確実な方法は、ルーターの DMZ 機能により、お手元の TrixboxPro サーバがすべてのポートのアクセスを可能にしておくことです。ルーターの設定につきましては、ルーターに付属している取扱説明書をご覧ください。

ステップ 6 :: HUD のインストール

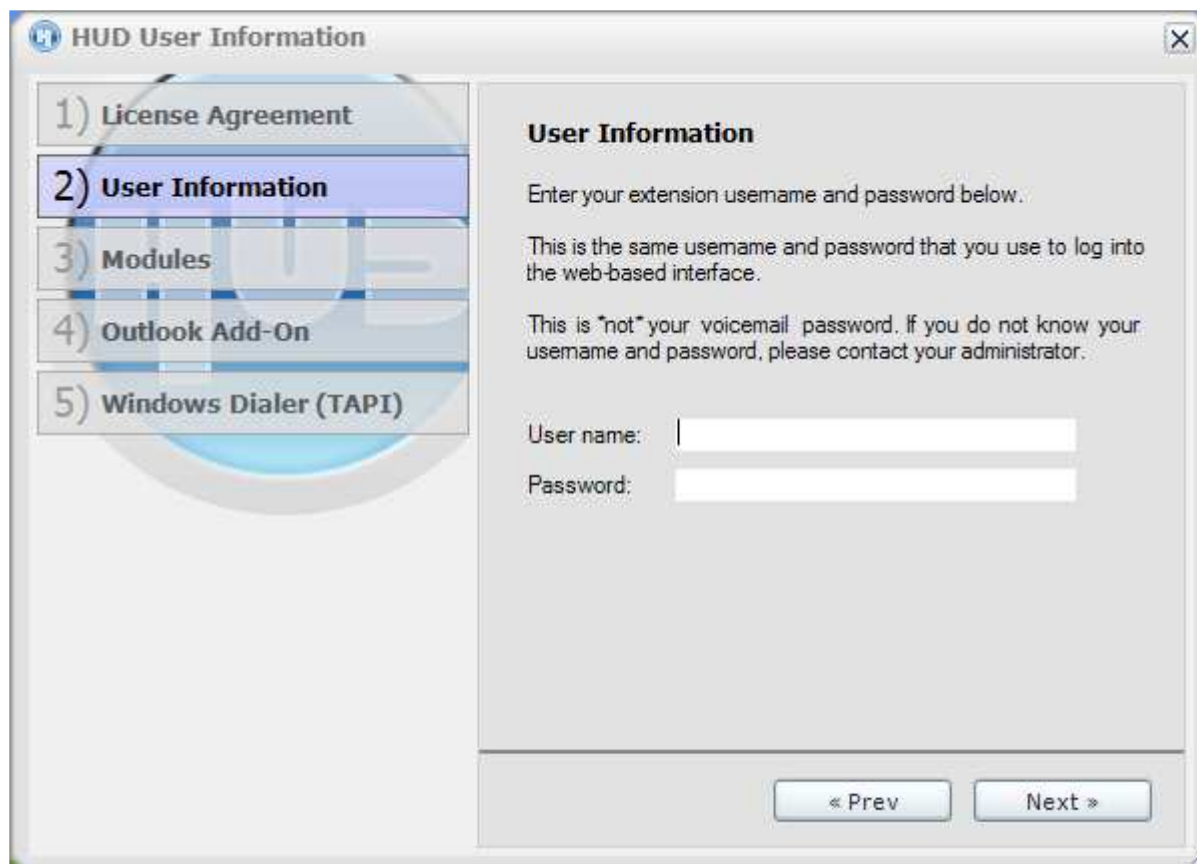
HUD インストールプログラムを以下の URL からダウンロードし、インストールしてください。

<http://cp.trixbox.com/gethud/client/hud-trixbox-2.1.1.1290.exe>

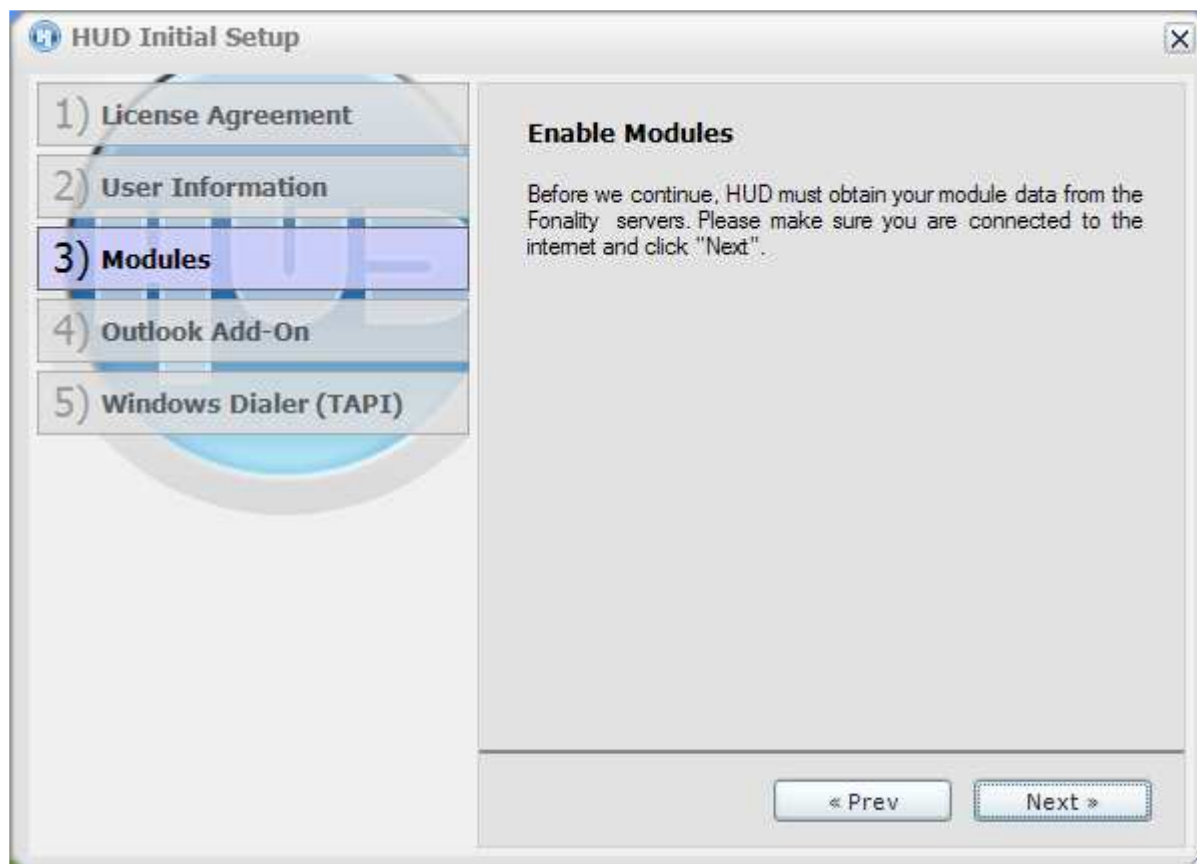
インストールが完了すると、初期設定ウィザードが開始します。



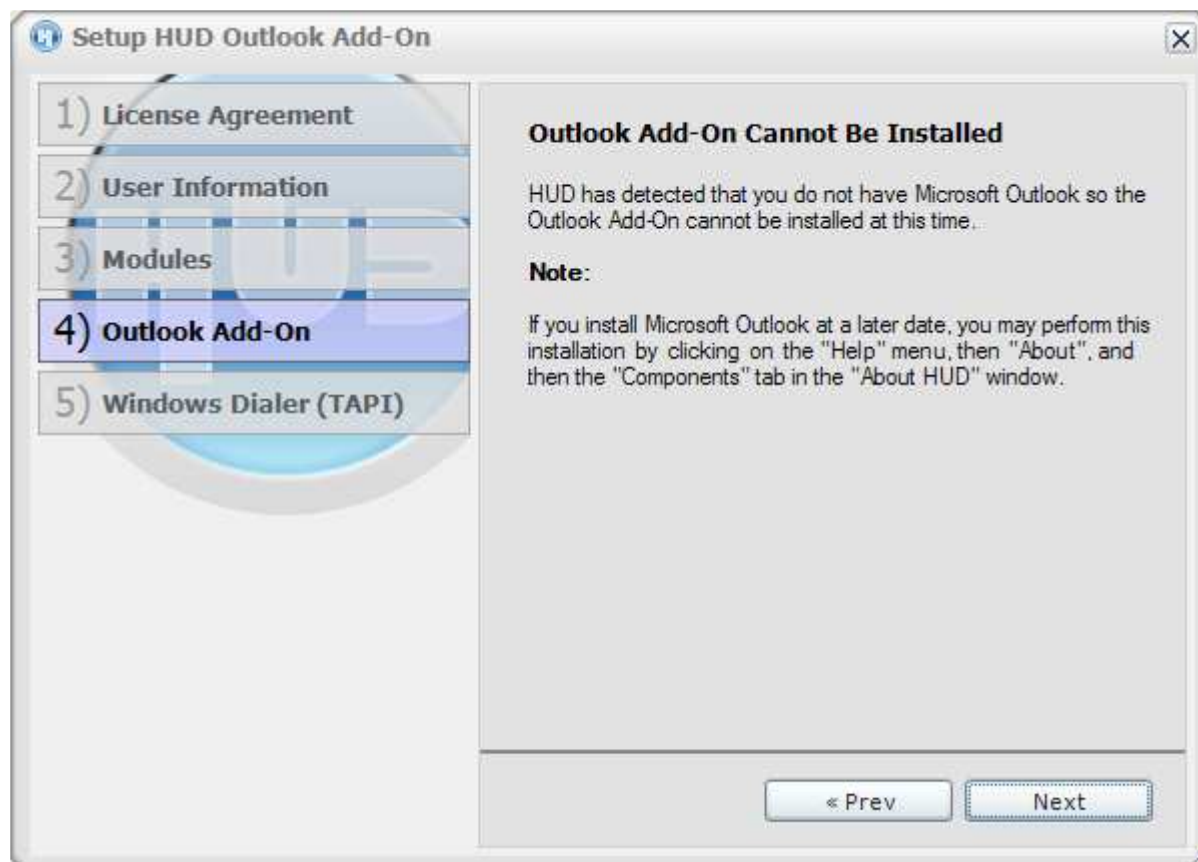
「Accept」をクリックします。



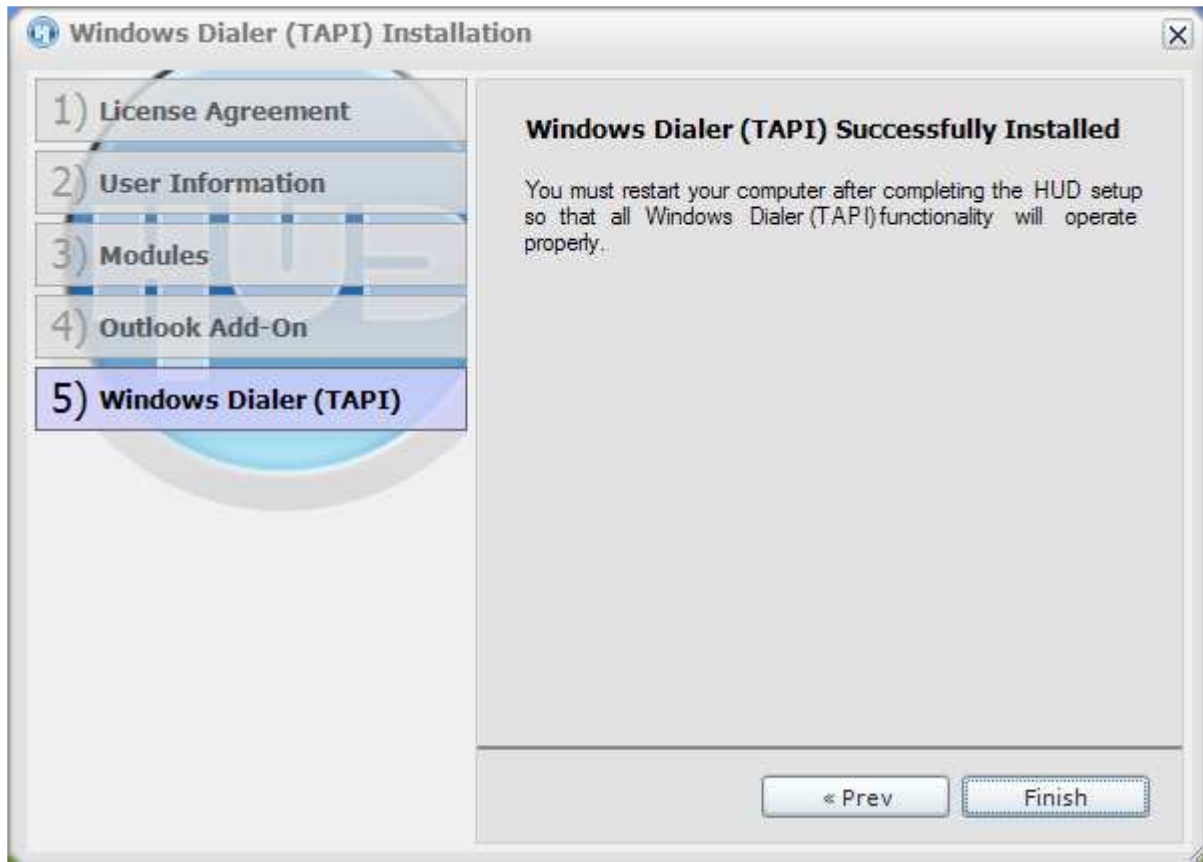
ここでは、trixboxPro で登録した内線の WEB ユーザー名とパスワードを入力します。



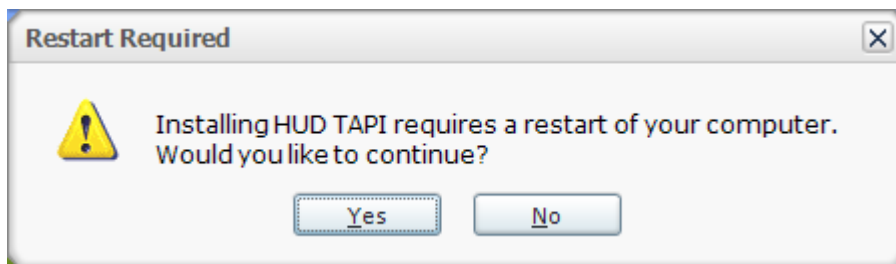
これでモジュールの登録が完了しました。次に Outlook アドオンをインストールします。



Outlook がお使いの PC にインストールされていない場合は上記のメッセージが表示されますが、そのまま「Next」をクリックして続けます。



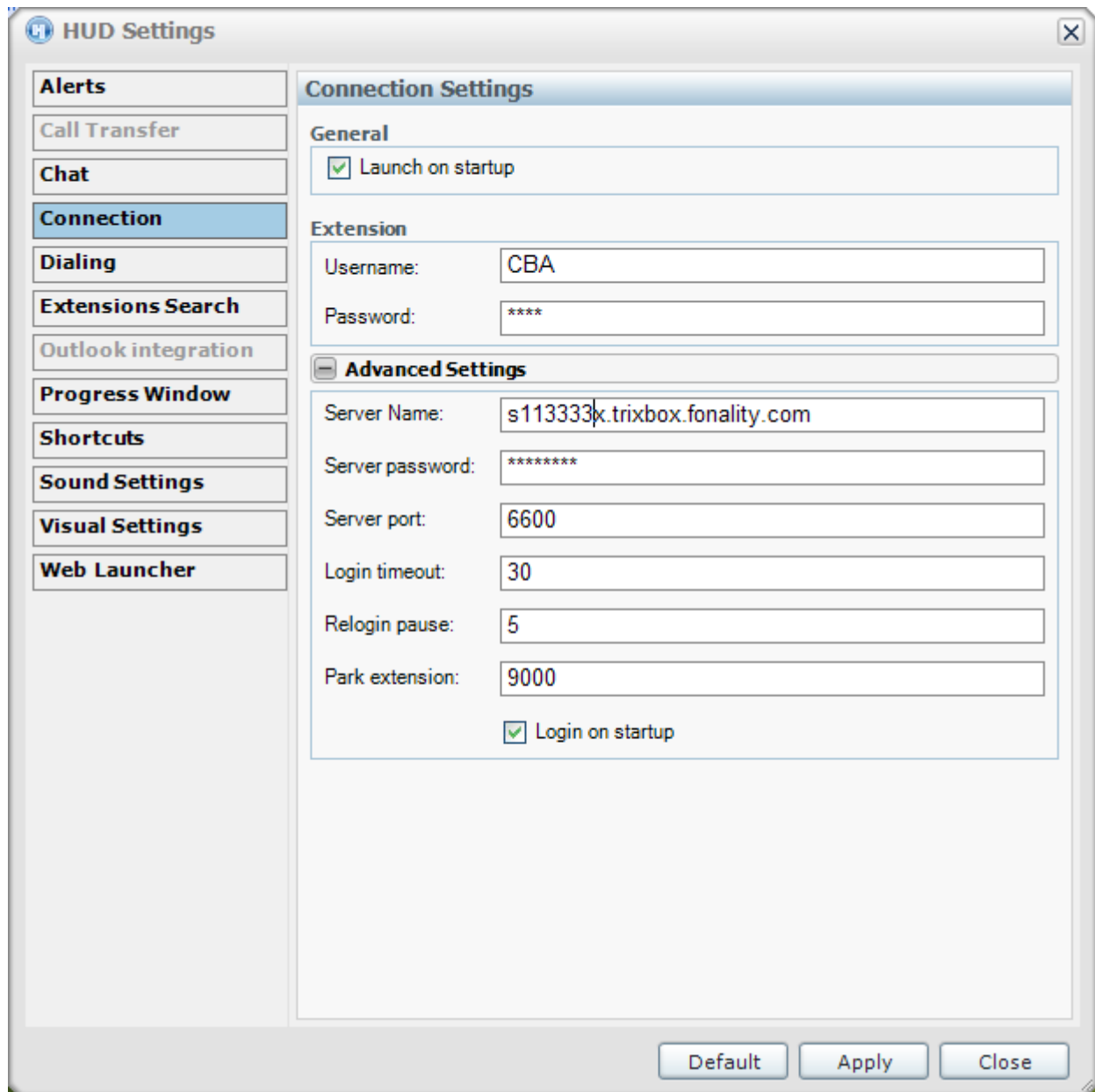
続けて、Tapi ダイアラーがインストールされ、初期設定ウィザードは終了します。
PC を再起動することを通知するメッセージが表示されます。



「Yes」をクリックします。これで再起動されます。再起動後画面には、以下のような HUD インターフェイスが表示されます。メニューから File - Setting を選んで、trixboxPro への接続設定を行います。



左側のタブから「Connection」を選びます。下図のような画面が表示されます。



「Advanced Settings」横のボタンをクリックして、詳細項目を表示させます。

Server Name : PC が trixboxPro と同じ構内 LAN に接続されている場合は、
sNNNNNN.trixboxPro.fonality.com、リモート環境にある場合は
sNNNNNNx.trixboxPro.fonality.com と入力してください。NNNNNN は trixboxPro の Web インター
フェースにログインする時に使用した 6 桁のユーザー番号です。（上図では 113333 になっています）
Server password : trixboxPro の Web インターフェースにログインする時に使用したパスワードを入
力してください。

以上で設定は完了です。ログインに成功すると以下のような画面になります。



オプション設定

trixboxPro サーバを DHCP サーバに設定する。

Polycom や Aastra 社製 IP 電話機を御利用になる場合は、trixboxPro がインストールされているサーバを DHCP サーバとして設定すると、電話機はプラグアンドプレイで自動設定されます。それで、この設定を強くお勧めいたします。IP 電話機のネットワークアドレスをルーターないしは別の DHCP サーバで行う場合は、電話機の自動設定は行われません。DHCP サーバ機能は 2 個目以降の LAN ポートに設定できます。御利用のサーバに 1 つしか LAN ポートが実装されていない場合はこの機能を利用できません。ここでは 2 つ目の LAN を eth1 として説明しています。

WinSCP でサーバにアクセスする。

WinSCP は Linux サーバにアクセスするには非常に便利なツールです。以下のサイトからダウンロードできます。

<http://winscp.net/eng/index.php>

dhcpd.conf ファイルを書き換える。

/etc/dhcpd.conf を開きます。

このファイルのすべての内容を以下のサンプルと書き換えます。(赤で記述されている部分は説明です。実際の設定ファイルには記述しないで下さい。青の部分は自分の環境に合わせて記述してください)

```
ddns-update-style interim;
```

```
ignore client-updates;
```

```
subnet 192.168.25.0 netmask 255.255.255.0 {
option routers 192.168.25.1; # デフォルトゲートウェイ
option subnet-mask 255.255.255.0; # サブネットマスク
option nis-domain "tdp.local";# ドメイン名
option domain-name "tdp.local";# ドメイン名
option domain-name-servers 192.168.25.1; # DNS サーバアドレス。trixboxPro のアドレスにすると良い
option time-offset 32400; # Tokyo の設定
option ntp-servers 192.168.25.1; # tftp サーバアドレス。trixboxPro のアドレスにする (必須)
option tftp-server-name "192.168.25.1";# tftp サーバアドレス。trixboxPro のアドレスにする (必須)
range dynamic-bootp 192.168.25.10 192.168.25.254; # 割当ててる IP アドレスの範囲
default-lease-time 43200;
max-lease-time 86400;
}
ddns-update-style none;
class "phone" {
match substring(hardware,1,3);
}
# Polycom
subclass "phone" 00:04:f2
{
authoritative;
```

```
option tftp-server-name "tftp://192.168.25.1";
}
subclass "phone" 00:90:7a { # Polycom
option tftp-server-name "tftp://192.168.25.1";
}
subclass "phone" 00:e0:75 { # Polycom SoundStation IP
option tftp-server-name "tftp://192.168.25.1";
}
subclass "phone" 00:08:5d { # Aastra
option tftp-server-name "192.168.25.1";
}
subclass "phone" 00:10:bc { # Aastra Telecom
option tftp-server-name "192.168.25.1";
}
```

* * * * *

続いて、ターミナルから

chkconfig dhcpd on

service dhcpd start

と入力して DHCP サービスを起動します。

もし、ネットワークアダプタが 2 個ある場合は、そのうちのひとつを IP 電話専用のネットワークとし、そこに DHCP サービスを起動させます。通常、trixboxPro のアクティベーションプロセスで二つ目の LAN で DHCP を起動するか選ぶように促されますが、手動で設定する場合は、以下の通りです。

ifcfg-eth1 ファイルを作成する

/etc/sysconfig/network-scripts ディレクトリに、

ファイル名 ifcfg-eth1 のファイルを作成する（もし無い場合）
このファイルには以下のように記述します。

```
DEVICE=eth1  
ONBOOT=yes  
IPADDR=192.168.25.1  
NETMASK=255.255.255.0  
BOOTPROTO=static  
NETWORK=192.168.25.0  
BROADCAST=192.168.25.255
```

Dhcp ファイルを編集する

/etc/sysconfig/dhcpd を変更します。

```
DHCPDARGS=eth1
```

上記の編集作業が終了したら、サーバーを再起動します。

他のデバイスドライバをインストール必要がある場合の対処法

Fonality 社が正式にサポートしていないサーバーは時として、ネットワークカードが認識されないといったトラブルが発生します。例として、ASUS 社の EeeBox を取り上げてみます。このアプライアンスのネットワークデバイスは 1000TX という高速型のタイプになっており、trixbox の OS はそのままでは認識できません。それで、手動でデバイスドライバをインストールする必要があります。

- trixbox のインストールが完了して再起動が始まると、画面上面に「Booting trixboxPro …..」という表示がでます。このときにすぐに「Enter」キーを押します。すると起動オプション設定画面に入ります。
- 2つの起動オプションが表示されますので、上の第一オプションを選択して、キーボードから「e」を押します。
- 画面上に詳細項目が表示されます。「kernel…」で始まる行があるはずです。これを選択して、「e」

を押します。

- OS の起動オプション設定が表示されますから、その文字列の最後尾に「single」と入力してください。このときに直前のオプションとの間に必ずスペースを入れてください。入力し終わったら「Enter」キーを押します。
- 前の画面に戻ります。ここで「b」を押し、システムを再起動します。
- システムが再起動すると、「sh#」というプロンプトが表示されますので、ここから「root」アカウントのパスワードを設定します。「passwd」と入力し、「Enter」キーを押します。パスワードを入力するように促されますので、パスワードを入力してください。パスワードは確認のためもう一度入力するように促されます。
- 続いて「reboot」を入力しシステムを再起動します。
- 今度は、「inactive login:」というプロンプトが表示されますので、ここで「root」と入力し「Enter」キーを押します。続けて先ほど設定したパスワードを入力し「Enter」キーを押します。これで、root 権限でシステムにログインできました。

ここからネットワークドライバをインストールします。

ネットワークドライバのファイルが入っている SD カードあるいは CD を準備します。もちろん Wget コマンドで web から直接デバイスドライバをダウンロードしてもかまいません。仮にデバイスドライバが保存されている SD カードを準備できているとしましょう。EeeBox の SD カードスロットに挿入します。続けて以下のコマンドを一行ずつ入力して実行してください。

mkdir /mnt/card (サーバー上に外部ドライブをマウントするためのディレクトリを作成)

mount -t vfat /dev/sdb1 /mnt/card (外部メモリをマウント)

cp /mnt/card/r8168-8.009.00.tar.bz2 /home/ (ドライバを HDD にコピー)

tar xjf r8168-8.009.00.tar.bz2 (ドライバを解凍展開)

cd r8168-8.009.00 (展開先のディレクトリに移動)

make clean modules ()

make install (ドライバをインストール)

depmod -a (新しいドライバをシステムに認識させる)

これでドライバのインストールは終わりました。「reboot」と入力して「Enter」キーを押します。シス



テムが再起動します。再び「inactive login:」とプロンプトが表示されたら「activate」と入力して、通常の trixboxPro 認証手続きを進めます。